

## 京都BCP推進会議（第4回）の開催結果

1 日時 平成29年7月25日(火) 13:30~15:15

2 場所 京都府庁福利厚生センター 3階 第1会議室

3 出席者 学識経験者 名古屋工業大学 渡辺研司教授  
経済団体等 京都府商工会連合会、公益社団法人京都工業会、  
京都府中小企業団体中央会、京都信用金庫  
ライフライン機関 NTT西日本(株)、関西電力(株)、大阪ガス(株)、京都府営水道  
行政 京都府、京都市

### 4 概要

〈別添資料に基づき検討を実施〉

- 今年度も京都BCP企業交流会を開催し、テーマを設定して定着化を図っていく。
- 各経済団体とライフラインの取組を相互に連動させるなどさらに進化させていく。
- 府内各地や長田野工業団地においてBCP策定支援ワークショップを開催することにより、連携型BCPへの一歩を進めていく。

### 5 意見交換等の内容

- 2011年に水害で大きな被害を受けたタイの工業団地において、情報の共有化、意思決定の仕組みの明確化、リスクの可視化など連携型BCPを構築することとなった。(渡辺座長)
- 地域の優先復旧について、こちらから要望を行うことはないが、情報提供等はいただきたい。(商工会連合会)
- それぞれの企業がどういったBCPの取組をしているかを把握するため、今年度製造等の情報交換会を実施したい。(京都工業会)
- 情報の速やかな収集、提供は我々の責務と考える。会員組合の情報を平時より整理しておくことにより、被災時に対応できる仕組みづくりを行いたい。原則、自治体の判断に委ねるが、場合によっては、優先復旧の地域を要望することもあり得る。(中小企業団体中央会)
- 産業の復旧が地域復興に繋がるため、BCPの取組が重要である。大規模災害時の京都府と経済団体の連携内容に基づき、訓練をしてはどうか。様々な課題が出てくるはずであり、一度訓練すれば次のステップが見えてくる。(渡辺教授)
- 各ライフラインや地域の状況について情報収集が大事なので、情報の流れに一本筋が通ると行動しやすい。(府営水道)
- 毎年自社で訓練を実施しているが、他のライフライン団体がどういった対応をしているか協議会や訓練等で情報共有し、連携したい。(大阪ガス)
- 災害発生後の復旧作業については、極力、防災機関など優先すべき施設から復旧していくこととしている。当然ながら、京都府からの要請があれば、柔軟に対応していきたい。なお、大規模な災害発生後の復旧作業にあたっては、他のライフライン団体や行政等との共助が必要であり、京都BCPの取組の中で訓練をして連携を深めていきたい。(関西電力)
- 携帯電話会社が参画するのはいいこと。光ファイバーは、携帯電話会社の無線局と絡んでおり、復旧に当たっては協調していく必要があるため、各社のベストプラクティスを検討していきたい。(NTT)